

平成20年度 袋井市予算の概要

本市の平成20年度予算は、一般会計が283億円、特別会計が152億2千3百60万円、企業会計が88億6千8百万円で総額は、523億9千160万円となった。一般会計の予算規模は、平成19年度当初予算額に対して8.3%の増となった。主要事業は、健康づくりの推進に4億3千万円、少子化・子育て支援に13億1千万円、協働まちづくりの推進に1億2千万円を計上した。

歳入は、その太宗をなす市税は固定資産税の増などにより152億円と前年度に対して1.4%の増となった。

地方交付税は、平成18・19年度の合併特例債の集中的な返済と地方再生対策費の創設により基準財政需要額の増が見込まれ、前年度に対して24%増となった。

国庫支出金は、まちづくり交付金事業の推進により、前年度に対して24.5%増となった。

県補助金は、地域産業立地事業費補助金や都市計画街路事業整備事業補助金の増などにより15億円と前年度に対して16%の増となった。

市債の繰上償還と財源確保のために、減債基金から5億5千万円・財政調整基金から2億円の繰り入れを計上すると共に、臨時財政対策債を6億5千万円、合併特例債を13億9千万円の借り入れを計上した。

歳出では、総合計画を着実に推進するため、健康づくりの推進、少子化・子育て支援、協働まちづくりの推進のほか、環境対策に3億7千万円、産業振興対策に3億2千万円、治水対策に2億7千万円、袋井駅周辺整備事業に9億円、区画整理事業に9億7千万円、袋井南小学校校舎増築事業・浅羽北小学校体育館改築事業などの教育施設整備費に3億1千万円などを計上した。

性質別では、人件費は、前年度に対して2.6%の減、物件費は3.0%の増、補助費は、後期高齢者医療がスタートすることに伴う静岡県後期高齢者医療広域連合への負担金の増と(新)中遠クリーンセンターの操業が開始されることに伴う袋井市森町広域行政組合への負担金の増などにより37.6%の増となった。

公債費は、繰上償還の実施と合併特例債を有効活用するため集中的返済などにより、地方債現在高の抑制など、プライマリーバランスに配慮するため、30.2%の増となった。